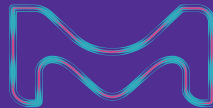
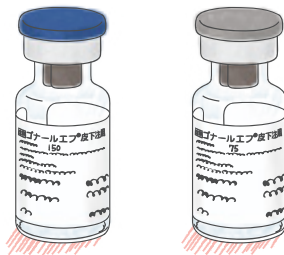


ゴナールエフ®皮下注用75/150を使用されている方へ



ゴナールエフ®皮下注用75/150
取扱と注射のしかた

GONALEF®



GONALEF®
FOLLITROPIN ALPHA

監修：古賀文敏ウイメンズクリニック
院長 古賀文敏先生

MERCK

在宅自己注射を始める前に

必ずお読みください

➤ 指示された通り、注射してください ➤

- 注射をする際は、主治医が指示した注射の量・回数を守ってください。
決して自分で量や回数を変更しないでください。量が多いと副作用があらわれるおそれがあります。
また、量が少ないと効果が期待できないことがあります。
- 注射するのを忘れ、気付いた日が次回の注射日に重なった場合は、
前回忘れた分は注射せず、後日、注射ができなかったことを主治医にお伝えください。

➤ 使用後のバイアル、注射器、注射針について ➤

- 使用済み又は破損したバイアル、注射器、注射針は廃棄容器に入れてください。
- 廃棄容器はお子様の手の届かないところに収納してください。
- 廃棄容器は来院時にご持参ください。
- 誤った方法で処分すると、他の人を傷つけるおそれがあります。
使用済みのバイアル、注射器、注射針は感染性廃棄物として処分することが法律で定められています。
絶対に一般のごみと一緒に処分しないでください。

主治医の指示に従い、正しくご使用ください。

注射を行う前に準備するもの

在宅でゴナールエフ[®]皮下注用を注射する前に、下記の必要なものを準備してください。



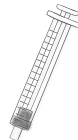
150IUの場合 75IUの場合
ゴナールエフ[®]皮下注用
(バイアル)



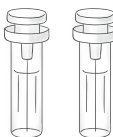
注射用水
(バイアル)

NEW

アンプルから
バイアルに
変更になりました。



注射器2.5mL
(または1mL)1本



調製用注射針23G 1本
注射用注射針
27Gまたは26G 1本



消毒用アルコール綿2枚



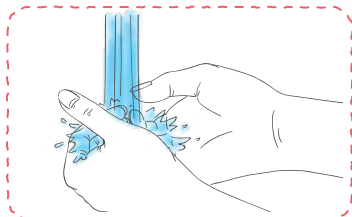
廃棄容器

このお薬を注射した後に、体調の変化や何か気になることを感じたら、
主治医または薬剤師にご相談ください。

皮下注射の準備

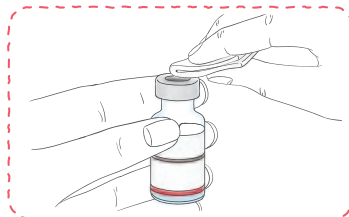
注射用薬液の調整

1 手をよく洗う



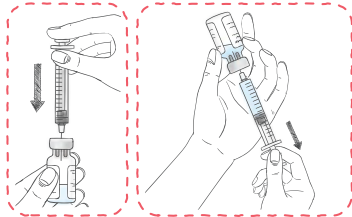
注射の準備を行う前に、必ず手を洗ってください。手やご使用になる器具を清潔にしておくことが重要です。

2 バイアルのキャップを取り、ゴム部分を消毒する



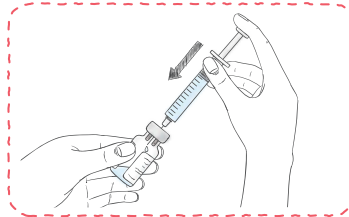
薬剤と注射用水のバイアルのキャップを外し、上部のゴム部分をアルコール綿で消毒してください。

3 注射針を装着した注射器で注射用水を吸い上げる



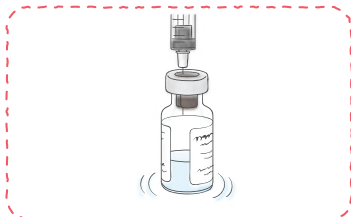
注射器と調製用注射針(23G)を包装から取り出し、注射器に注射針を取りつけた後、針キャップを外してください。注射用水の入ったバイアルを持ち、バイアルのゴム部分に注射器の針をゆっくと刺してください。注射器のピストンをゆっくと引き、注射用水の全量を吸い上げてください。

4 注射用水を薬剤の入ったバイアルに移す



薬剤の入ったバイアルのゴム部分に注射器の針をゆっくと刺し、注射用水がバイアル内壁を伝って流れるよう、全量を少しずつ移してください。

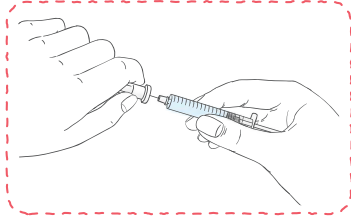
5 薬剤の入ったバイアルをゆっくりと振る



薬剤の入ったバイアルに注射器を刺したまま円を描くようにゆっくりと2~3回振り、薬剤を溶かしてください。

この時、泡を立てないように気をつけ、完全に溶けていることを確認してください。

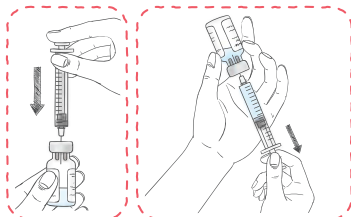
7 注射針を付け替える



調製用注射針(23G)から注射用注射針(27Gまたは26G)に付け替えます。外した調製用注射針は廃棄容器に捨ててください。

注射針の付け替えについては、主治医の指示に従ってください。

6 薬液の入ったバイアルを逆さまにし、注射器のピストンを引く



注射器のピストンを最後まで押し込んだ状態でバイアルを逆さにし、針先が液の中にあるようにゴム部分の位置まで針先を下げてください。注射器のピストンをゆっくりと引き、全ての薬液を注射器内に吸い込み、バイアルから注射針を抜いてください。

8 注射針の針キャップを外し、針先を上にして持つ

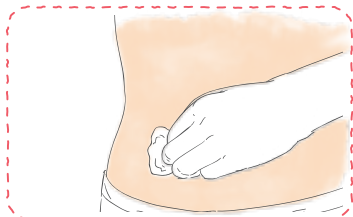


針キャップを外し、針先を上にしてください。注射器内に気泡が残る場合は、注射器を指で軽く弾いて気泡を上部に集め、ピストンをゆっくり押して除いてください。

これでゴナールエフ®皮下注用の準備は完了です。

皮下注射をする

1 注射部位を決め、消毒する

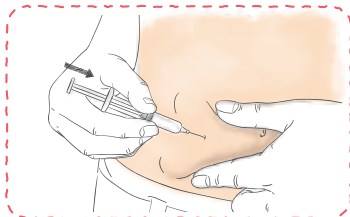


上腕、大腿、腹部、臀部などから注射する部位を選んでください。注射する部位を消毒用アルコール綿で消毒し、乾くまで待ちます。同一部位への短期間の繰り返し注射は避けてください。



アルコールアレルギーの方は
主治医や看護師の指示に従ってください。

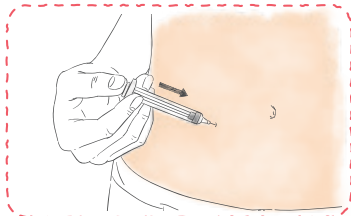
2 注射部位の周囲の皮下脂肪をつまむ



片手に注射器を持ち、もう片方の手で注射部位の周囲の皮下脂肪をつまんでください。

MEMO

3 針を刺し、ゆっくりと注入する



針先の断面を上に向け、つまんだ皮下脂肪の中央に針を刺し、薬液の全量をゆっくり注入してください。

27G(長)



26G/27G(短)

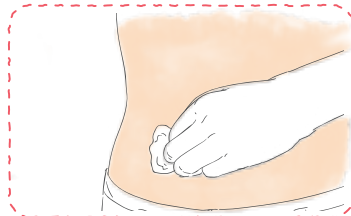


針の刺入深度は27G注射針の2/3の深さです。
(短い27Gや、26G注射針の場合、深く刺入します)



- 注射針を刺す角度や深さは主治医の指示に従ってください。
- 注入後に血液の逆流がないことを確認してください。

4 注射部位を消毒用アルコール綿で軽く押さえる



針を抜き、注射部位を消毒用アルコール綿で軽く押さえてください。数分経っても出血がとまらないようであれば、新しい消毒用アルコール綿に換え、絆創膏で覆ってください。



消毒用アルコール綿で軽く押さえた後、注射部位をもまないようご注意ください。



使用済みの注射器、
注射針は廃棄容器に入れてください。



使用済みの注射針は針刺し事故防止のため、キャップをしないでください。

使用済み又は破損したバイアルは廃棄容器に入れてください。

廃棄物は法律に基づいた方法で処分が必要ですので、来院時に廃棄容器をご持参ください。

CHECK LIST

CHECK!

準備する

- 手をよく洗う。
- 薬剤と注射用水のバイアルのキャップを取り、ゴム部分を消毒する。
- 注射器と調製用注射針を包装から取り出し、注射器に注射針を取りつけた後、針キャップを外す。
- 注射用水バイアルに注射針を刺したまま逆さにし、ピストンを引いて注射用水を注射器に移す。
- 注射用水を薬剤の入ったバイアルに移してゆっくりと振る。
- バイアルに注射針を刺したまま逆さにし、ピストンを引いて薬液を注射器に移す。
- 調製用注射針を注射用の細い注射針に付け替えた後に針キャップを外し、針先を上にして持つ。
- 注射器内に気泡が残る場合は、指で軽く弾いて気泡を上部に集め、ピストンをゆっくり押し除く。

CHECK!

注射する

- 注射部位を決め、消毒する。
- 注射部位の周囲の皮下脂肪をつまみ、注射針を注射部位に刺す。
- ピストンをゆっくり押し薬液を注入する。
- 注射針を抜き、注射部位を消毒用アルコール綿で軽く押さえる。

CHECK!

注射が 終わったら

- 使用済みのバイアル、注射器、注射針は廃棄容器に入れる。

保管方法

- 本剤は包装箱に入れた状態で保存してください。
- 本剤は室温(1~30℃)遮光で保存してください。直射日光の当たる場所、自動車の中など高温になる場所に置くと、製剤の劣化を招き、有効な治療効果が得られなくなります。
- 注射用具および注射薬はお子様の手の届かないところに保管してください。

メルクバイオフーマ株式会社

東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー
URL <https://www.merckgroup.com/jp-ja>